

競輪スマートリレー サンケイスポーツ・タ刊フジ杯



3/26(火) 27(水) 28(木)



川崎スポーツ

レース展望

3月26日から開催される川崎競輪はサンケイスポーツ、タ刊フジ杯として開催されるF1ナイター。ガールズケイリンを含めた12レース制で行われる。

S級戦は地元の川越勇星(神奈川111期)に期待。自ら動いてもいいが、力を付けている道場晃規(静岡117期)を目標にしてもいいし、予選から原田亮太(千葉115期)や望月一成(静岡117期)らの積極的な機動型が勝ち上がり連係すれば、チャンスは大幅にアップ。関東勢はパワフルな自力が持ち味の末木浩二(山梨109期)や予選から力を付けている中島詩音(山梨119期)あたりが勝ち

進めば、武藤龍生(埼玉98期)も優勝に近付きそう。北日本は戦力が手薄だが、一発ある根本哲吏(秋田97期)が不気味な存在。遠征勢は中部、近畿からのあっせん。機動力高い谷口遼平(三重103期)と、キメ脚シャープな椎木尾拓哉(和歌山93期)が中心となる。

A級戦は地元ホームの佐々木和紀(神奈川117期)と、川崎健次(神奈川88期)が中心となりそう。北日本は何でもこなすオールラウンダーの中村弘之輔(北海道109期)が頼みとなりそう。関東は自力の頻度が増えている菅谷隆司(東京96期)とマーク巧者高橋昇平(埼玉99期)の埼玉コンビの活躍に期

待。遠征ラインは飛び抜けた実力者は居ないが、底力ある西本直大(大阪92期)や中川繁樹(京都93期)らの頑張り次第で、ベテラン四宮哲郎(京都71期)には勝機が出てくる。追加参戦となる山口智弘(愛知99期)は近況抜群の安定感で決勝進出を果しており、その機動力にも警戒が必要。

ガールズケイリンは復活した石井貴子(千葉106期)を筆頭に中野咲(愛知110期)や青木美保(埼玉118期)らの自在型が中心に。機動力高い太田美穂(三重112期)や、ベテラン加瀬加奈子(新潟102期)らも仕掛け次第では結果を残しそう。

各
ラ
イ
ン
互
角
で
V
争
い
接
戦

S級
主力選手



武藤龍生 埼玉 98期

昨年は地元オールスターで表彰台に乗るなど、トップクラスで安定した走りを見せている武藤龍生。こつこつと努力を積み重ねた遅咲きレーサーではあるが、いまや高いレベルでラインを重んじた走りをする追い込み選手。今開催のシリーズリーダーとして結果残すか。

S級
主力選手



谷口遼平 三重 103期

まだグレードレースで目立った成績は残していないが、トップクラスで十分に通用する機動力の持ち主。ダッシュも良いし、しっかり長い距離も踏める印象で、力を出し切る展開に持ち込めば格上を倒す底力がある。今シリーズの優勝候補の一角と見ていいだろう。

S級
主力選手



川越勇星 神奈川 111期

父は長年地元ファンに愛された義朗(61期・引退)でポテンシャルの高さは折り紙付き。今年欠場明けからはなかなか結果を出せていないが、今シリーズは地元の若きエースとして最低でも決勝進出が責務。S級初Vを達成して、復調のきっかけを作りたいところ。



A級
注目選手
佐々木和紀
神奈川 117期

父に龍也(57期・引退)と兄は龍(109期)、真也(117期)の競輪一家。自力基本に何でもこなせるオールラウンダーで、思い切り良い仕掛けも、強気に好位をさばく度胸もある。今シリーズは地元ホームの主軸として、しっかりと結果を残しておきたいところ。

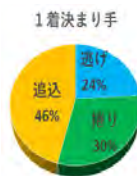


ガールズ
注目選手
石井貴子
千葉 106期

度重なる大けがに苦しんできた石井貴子だが今年は順調なスタートを切っている。鋭いダッシュを生かした自在戦で常に優勝候補として活躍。無論、今シリーズも優勝候補の筆頭として、連日頭から狙いたい選手。今年GPの舞台に再び咲く可能性も十分にある。

川崎競輪場バンクガイド (2023年10~12月データ)

1年の改修工事を経て、昨年10月からリニューアルした川崎バンク。12月まで363レース(ガールズを含む)を終えた段階の1・2着の決まり手データは表の通り。基本的に構造は旧バンクを踏襲したもので、逃げ・捲り・差し・マークについて、それぞれのパーセンテージは以前と変わりはない。ただし1着に限って言えば、逃げ・捲りの決まり手が54%と過半数越えて、自力型のアタマから組み立てていく車券戦術が可能だろう。川崎名物イエローライン付近の強襲コースは、バンク改修により最終4コーナー走路をスムーズに回ってくるようになり、前団選手の失速が少なくなったため、今のところは出現率がそれほど高くない印象だ。



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル